

<その他、取組に特徴のある事例>

○タケノコの収穫体験による都市住民との交流

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県伊予市 下谷			
協定面積 13.4ha	田 (18%)	畑 (82%)	草地	採草放牧地
	水稻	タケノコ、栗、野菜		
交付金額 136万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	共同作業等出役賃金		29%
		役員手当		11%
		集落会合費		4%
		事務費		2%
その他		4%		
協定参加者	農業者 23人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

下谷集落は、タケノコ、栗、野菜などの畑作を中心に現在23戸の農家が存在するが、農業者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害の増加などにより農業生産活動の維持が困難になりつつある。このことから、将来にわたり農業生産活動を維持するとともに集落環境を保全し安心して暮らせる地域を目指すため、平成12年度から本制度を活用し、集落全体で地域づくりに取り組むこととした。

3. 取組の内容

農業生産活動を維持するための取組みとして、JA等の関係機関との連携により栗^{せん}剪定講習会やタケノコ栽培視察研修会を実施し、優良品種の導入を検討するなど栽培技術の向上を図っている。栗の生産においては、ナギナタガヤ草生栽培を導入し作業の省力化を進めることができた。

また、地域活性化のための取組みとして、近隣都市部の幼稚園児を対象にタケノコの収穫体験を実施している。非農家や他集落住民も参加し交流を深めるとともに、基幹作物のピーアールを進めている。



【総会】



【タケノコの収穫体験】

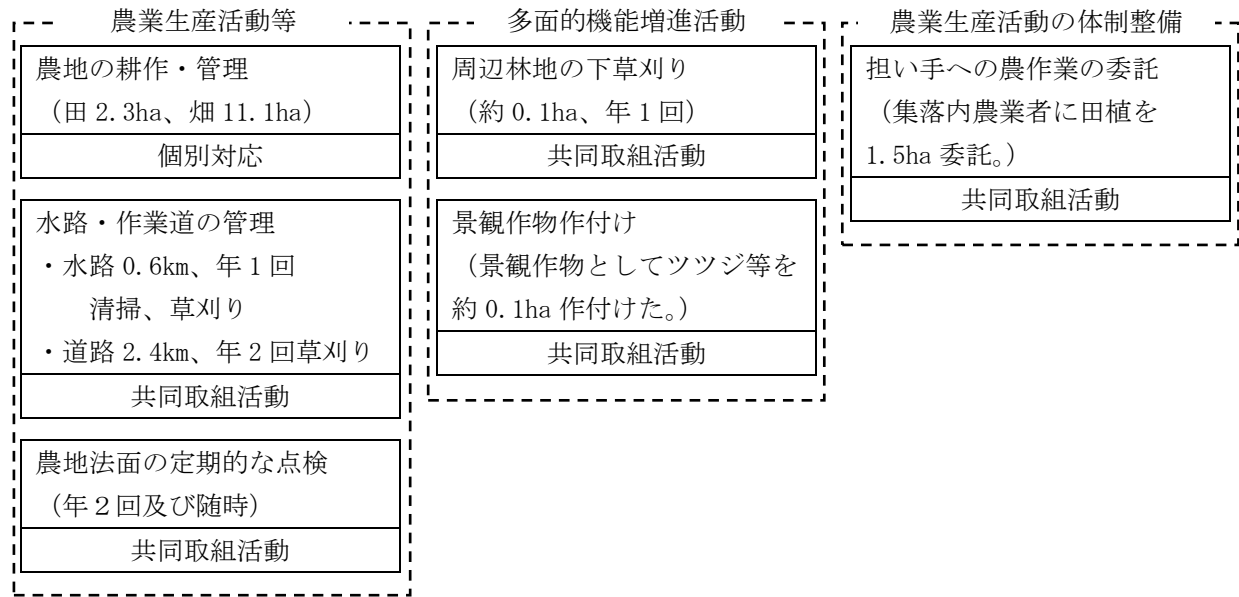
【集落の将来像】

- 耕作放棄地の増加を防止し、農業生産活動の維持、充実を図る。
- 集落内外の住民間交流により人口流出を防止し、地域活動の活性化に努める。



【将来像を実現するための活動目標】

- 新規優良品種の導入による農業収入の向上や農業活動の効率化、省力化による生産性の向上を図るため、JA等の関係機関と連携し各種研修会を実施する。また、地域活動の活性化を図るため、集落内での意見交換会や農業体験を通じた都市住民との交流会を実施する。



集落外との連携

- JAえひめ中央との連携により栗^{せん}剪定講習会やタケノコ栽培視察研修会を実施し、農業生産技術の向上を図る。
- エンゼル幼稚園と連携し、子供の農業体験を実施することにより都市住民との交流を進め、地域の活性化を図る。

4. 今後の課題等

農業者の高齢化に加え後継者の兼業化や市街地への人口流出が進んでおり、遊休農地、耕作放棄地の増加が懸念されている。農業生産活動を維持するため、今後も集落全体で水路・農道の維持管理等に取り組み、農業者を支援する体制を継続する必要がある。

【第 2 期対策の主な成果】

- 担い手への農作業の委託 (H17 : 0ha、H21実績1.5ha)
- 農道の管理 (2.4km)
- 水路補修 (0.7km)
- 鳥獣害防止対策 (イノシシよけトタン柵の設置)